

第1回新居浜市地域発達支援協議会会議録

1. 日時 平成24年7月17日(火) 15:00~16:30
2. 場所 市庁舎5階 大会議室
3. 出席者 委員 伊藤 恵子(代) 委員 関谷 博志
委員 橋本 久美子 委員 尾崎 洋子
委員 大上 恵子 委員 佐々木 正子
委員 小原 素子 委員 西原 勝則
委員 横井 敏行 委員 石崎 学(代)
委員 吉井 秀樹 委員 三ツ井 洋子
委員 松木 真吾 委員 真鍋 真理子
委員 八木 文恵 委員 野沢 佐絵美
アドバイザー 吉松 靖文 渡部 徹
4. 欠席者 委員 山内 寿恵 委員 松本 富美子 委員 大江 真輔
5. 事務局 渡邊 環 高橋 良光 畑野 一恵 石見 慈 寺尾 佳代子
長井 秀旗
6. 傍聴者 なし
7. 議題 (1) 教育委員会あいさつ
(2) 委員の自己紹介及び委員長、副委員長の選出
(3) 平成23年度発達支援課の主な施策と実績
(4) 今年度のスケジュールについて
(5) 発達支援諸事業について
(6) 発達支援施策の取り組み状況及び今後の方針について
(7) その他
8. 議事 開会 午後15時00分

事務局	ただいまから、第1回新居浜市地域発達支援協議会を開催いたします。 開会にあたりまして、発達支援課渡邊課長が挨拶を申し上げます。
課長	皆さま、こんにちは。平成24年度の第1回目の地域発達支援協議会にご出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。今年から2年間の任期で、新しい委員の皆さまをお迎えしての会議の開催になりますが、よろしく願いいたします。 7月に入りまして、もうじき夏休みが始まります。新居浜市ではこの時期に、

	<p>来年4月入学の新1年生のための就学相談の取り組みが始まります。関係者の皆さまには、何かと大変忙しい時期になりますが、子どもたちのよりよい就学のためによりしくお願いしたいと思います。</p> <p>昨年1年間は、就学指導、特別支援学校との連携や早期療育支援についてが本協議会の大きなテーマでしたが、今年は、発達支援の今後の方針等について、様々な角度から、また各方面の現場のご意見をいただきながら、協議を進めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>終りになりますが、本日の協議会が委員の皆さまの活発な議論により、実り多いものになりますようご祈念申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局 それでは、協議会を始めさせていただきますが、本日が平成24年度最初の協議会でございます。新しい委員の皆さまの就任もでございますので委員の皆さまから一言ずつ自己紹介をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">——委員自己紹介——</p> <p>事務局 ありがとうございます。委員の皆さまの紹介が終わりましてところで、委員長及び副委員長の選出に移らせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">どなたか推薦はございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">——（事務局一任の声）——</p> <p>事務局 事務局に一任していただけるということですので、事務局では、西原委員に委員長を、吉井委員に副委員長をお願いしたいと存じますが、拍手でご承認をいただけますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">——（拍手）——</p> <p>事務局 ありがとうございます。</p> <p>事務局 それでは、ここからの進行につきましては、西原委員長さんをお願いしたいと思います。委員長、副委員長さんは前の席に移動してください。</p>
--	---

委員長	委員長を務めさせていただくことになりました西原です。不慣れなもので、ご迷惑をおかけすることと思いますが、委員の皆さまのご協力をいただきながら、円滑な議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。
副委員長	委員長を補佐する立場として、精一杯務めさせていただきますので、委員の皆さまのご協力をお願いいたします。
委員長	<p>それでは、お手元の議事に従いまして会を進めて参ります。</p> <p>まず、協議事項の①の平成23年度発達支援課の主な施策と実績について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料に基づき平成23年度発達支援課の主な施策と実績を説明。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 組織体制の経緯 2. 地域発達支援協議会の設置、運営 3. 発達支援の各施策展開 <p>(1) 早期発見</p> <p>乳幼児健康診査時における障がいや発達課題の早期発見のためのスクリーニング強化方策（M-CHAT）の導入とフォローアップの充実を図る。（平成22年～）</p> <p>(2) 個別の支援計画の作成、活用</p> <p>多様な関係機関からの支援を総合的に調整していくためのツールとして、保護者と協働で個別の支援計画、個別の教育支援計画を作成し、効果的な運用と定期的な見直し、確実な引き継ぎを実施する。（平成21年～）</p> <p>(3) 相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学相談 <p>心身の障がい並びに発達課題の種類及び程度に応じ必要な調査等を実施し、教育上特別な配慮を要する幼児、児童及び生徒の適正な就学指導を行っている。効果的な就学指導の実施のために、民間専門家（理学療法士、作業療法士、心理相談員等）を就学相談員に任命している。（平成20年～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談 <p>子どもの育児や発達、就学について保護者が抱えている不安や疑問について相談をし、発達支援の充実と関係機関との連携強化を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談の実施 <p>保育所、幼稚園、小学校等へ心理専門員による巡回相談を実施し、障がいや発</p>

達課題のある子どもの早期発見、具体的支援方策の協議、現場教職員のスキルアップを図っている。

(4) 早期療育支援

心身に障がいのある未就学児及び心身の発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の相談、指導、療育等を行うことによりその発達を支援し、かつ助長するとともに、その保護者に対して家庭における養育上の諸問題についての相談指導を行う。

(5) 特別支援教育の充実

・学校特別支援教育支援員の配置

障がいや発達課題のある児童が在籍する小・中学校において、生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校特別支援教育支援員を配置し、児童生徒や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童生徒の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図る。

・私立幼稚園特別支援教育事業費補助制度（平成22年～）

私立幼稚園における特別支援教育の振興を図るため、心身に障がいを有する幼児が在園する私立幼稚園が実施する特別支援教育事業に対して特別支援教育事業費補助金を交付する。（1人月額3万円、手帳等所持者）

4. 講演会等の開催状況

講演会や連続講座の開催を通して、障がいや発達課題のある子どもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援の在り方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地域社会の理解の向上を図った。

(1) ダウン症とともに生きる講演会

○日時 平成23年6月19日（日） 13時～16時30分

(2) 第1回特別支援教育研修会

○日時 平成23年7月2日（土） 9時30分～15時30分

(3) 第2回特別支援教育研修会

○日時 平成23年8月4日（木） 13時30分～15時45分

(4) 発達支援スキルアップ連続講座（前期）

○日時 平成23年8月24日（水）～25日（木） 10時～15時

(5) 発達支援スキルアップ連続講座（後期）

○日時 平成24年1月5日（木）～6日（金） 10時～15時

(6) 早期療育通園事業「ひなたぼっこ」学習会

	<p>5. ソーシャルスキル支援事業</p> <p>○日時 月1回 日曜日（13：30～15：30）</p> <p>○場所 新居浜市総合福祉センター</p> <p>○目的 主に発達障がい児の児童生徒を対象に他者との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識やスキルを身につけるための指導を行い、社会性や対人関係能力等の向上を図る。</p> <p>○講師 愛媛大学教育学部特別支援教育講座准教授 苅田知則研究室 にいはまローズ</p> <p>○参加者 68名（延）</p> <p>6. 聴覚障がい児相談事業</p> <p>○日時 年9回（10：00～15：00）</p> <p>○場所 新居浜市こども発達支援センター</p> <p>○目的 聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心を持って自立した生活ができることを目指す。</p> <p>○内容 聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育（手話等）に関すること、保護者への支援及び通所機関への助言と支援</p> <p>○相談員 愛媛県立松山聾学校 教諭 佐伯 秋浩</p> <p>○相談件数 12名（延）</p> <p>委員長 ありがとうございます。 只今の説明で、ご意見がございましたら伺いたしたいと思います。どなたかございませんか。</p> <p>委員長 それでは続きまして、協議事項②の今年度の協議会のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 それでは平成24年度の協議会等のスケジュールについて説明させていただきます。本日が第1回目の協議会となります。7月21日に冨田先生をお迎えしての第1回特別支援教育研修会を開催いたします。8月4日に第2回特別支援教育研修会（映画上映会）を予定いたしております。8月23日、24日は前期の発達支援スキルアップ連続講座、第2回目の協議会を10月26日に開催の予定です。12月26日、27日に後期の発達支援スキルアップ連続講座、来年の2月12日に第3回目の協議会を開催いたしたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。</p>
--	---

委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明で、ご意見がございましたらお伺いしたいと思いますが、どなたかございませんか。</p>
委員長	<p>それでは続きまして、協議事項の③の発達支援諸事業について説明をお願いします。</p>
委員	<p>はげみ園ではこれまで主に運動発達に遅れのある子どもを対象に発達を促す支援をおこなってきました。24年4月から対人コミュニケーション発達に課題のある就学前の子どもを対象としたクラスを新設して支援をおこなうことになりました。4月から発達障がいへの支援に経験のある職員を2名増員いたしまして、非常員の嘱託医を含めて8名の職員で運営をおこなっています。その内訳は、新しく採用した発達支援を担当する職員が2名、理学療法士が1名、言語聴覚士が1名、保育士、児童指導員、管理者及び児童発達支援管理管理者となっています。発達支援につきましては、視覚支援やスケジュール提示、部屋の構造化などをして個別の指導、集団の指導ができるようなかたちで対応しています。4月から準備を進めて市の地域福祉課の協力もあって5月の末には部屋の構造化もできあがりまして、6月から本格的に受け入れを始めています。今現在、発達障がい圏の子どもたちが11名、肢体不自由及び知的障がいの子どもが25名となっています。児童福祉法の改正により、現在は児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業の2つの事業のみなし指定を受けています。今年度については、2つのみなし指定で学齢期の子どもたちに対して引き続きサービスの提供をおこなっています。その子どもたちが29名います。今後25年度以降についてどのような事業形態になるのかについては、市の地域福祉課と協議をしながら今後の事業の展開を考えていきたいと思っております。また今年度からはげみ園の運営は、社協の事業から新居浜市の委託事業へと変わっていますので、市とますます協力関係を強めながら発達支援が充実していくように取り組んでいきたいと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ご意見や質問等はございませんか。</p>
委員長	<p>特にないようでございますので、それでは続きまして、協議事項④の発達支援施策の取り組み状況及び今後の方針について事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>新居浜市の発達支援の取り組みは、平成20年度にスタートしました。この間、支援を必要とする子どもたちへの包括的かつ継続的な支援システムの構築を進めてきましたが、支援ニーズの多様化や児童福祉法の改正等の動きの中、新たな問題や課題等への対応が求められています。そこで、より充実した新居浜市の発達支援システムの構築を図るために、利用者や関係機関からの意見を踏まえながら、発達支援施策の内容や発達支援センターの業務内容の点検、評価を行い、新たな課題等を抽出しながら、その上で発達支援システムの今後のあり方とその実現に必要な取り組みや施策内容を検討していきたいと考えています。今年1年間のこの協議会の大きなテーマといたしまして、これまでの発達支援の取り組みの振り返り、自己評価的なものをおこない、来年度以降の発達支援の進んでいく方向性を探っていきたいと思います。利用者へのアンケート調査、関係機関へのヒアリング調査等をまとめながら、今後、資料を作成していきたいと考えています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。今後、ヒアリングやアンケート調査を実施して評価をするということですのでご協力をお願いします。ただいまの説明で、ご意見がございましたらお伺いしたいと思いますが、どなたかございませんか。</p>
委員	<p>アンケートの対象となる団体等はどのように考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今活動している多くの団体等から意見を取りまとめたいと考えています。内容等につきましては、後日、説明をさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>アンケートについてですが、保護者の方に聞きたいと思いますので、分かりやすく、かつコメント等を書き込めるような内容のもので、細かく項目を分けた方が評価しやすいと思いますので検討をお願いします。</p>
委員	<p>新居浜市で生活している心身に障がいのある子供たちについて、取りこぼしのないように幅広く、いろいろな保護者等からの意見を聞く機会をつくっていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>発達障がいに特化した取り組みもありましたが、障がいの種別にかかわらず新居浜市に住む子どもたちが適切な支援を受けられるように、今後、取り組みを進めていただきたいと思います。</p>

アドバイザー	<p>取り組み状況についてですが、年度末に目的を達成できたかどうかを評価するものですので、早く項目等を整理して進める必要があると思います。それから県の動きや調査なども念頭において計画を進めることが大切だと思います。評価及び検討方法で、まず利用者へのアンケート調査とありますが、これが一番重要だと思います。保護者団体へのヒアリングも大事ですが、是非、本人たちへアンケートを実施してほしいと思います。どのようなサポートがあったらもっと活躍できると感じているのか、本人にとってよかったかどうかが一番の観点だと思いますので、親が満足していても本人が満足していなければ、いったい誰のための支援なのかということになりますので、保護者団体等と連携しながら早急に取り組みを進めていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。利用者のアンケートは、保護者団体、当事者、子どもたちから多くの意見を聞いて進めていくようにお願いします。</p>
委員	<p>実は、障がいがあると思われる3歳の双子の子どもさんについて来年の就園について相談を受けたのですが、どこに相談に行けばいいのかと聞かれたのですが、いろいろな所へ相談にいらっているようなので、このようなケースは発達支援課へ相談に行くように勧めたのですが、そのような対応でよかったのでしょうか。</p>
事務局	<p>発達支援課で相談にのりますので、そのようにお伝えください。</p>
委員	<p>お母さんがいろいろなことを知りたいのであれば、市内の保護者団体を紹介していただけると、お母さんへのいろいろな支援ができますし、また、いろいろな悩みを打ち明けられる場にもなりますので、支援の具体的な内容などについては発達支援課へ相談に行ってもらって、お母さんがしんどい時には、親の会などの団体へ来て話をするのもいいと思いますので、機会がありましたら、是非、紹介をお願いします。</p>
アドバイザー	<p>取り組み状況の中に、個別の支援計画の作成、見直し、引継ぎの項目がありますが、その引継ぎは幼稚園や保育所の中といった同一の機関内の引継ぎという印象が強いのですが、幼稚園、保育所から小学校への引継ぎ、小学校から中学校、中学校から高等学校への引継ぎをどうしていくのか、その辺りを発達支援課がどのように関わっていくのか、特に小学校から中学校への引継ぎについ</p>

て具体化されていくようになると、学校の先生の意識も変わっていくのではないかと感じています。それから新居浜市の就学相談については、チームをつかって各幼稚園、保育所へ訪問して就学相談をしていたと思うのですが、その就学相談で訪問するのと、巡回相談で訪問していくケースとが、今後どのようになっていくのかに興味があります。この間の中教審の話では、就学指導委員会を教育支援委員会に名称変更しようという動きがあります。今、子どもに何が一番大事な課題なのかを相談するような相談会へ移行するような案が諮られています。そうなりますと就学相談に行った時の内容と巡回相談に行った時の内容がほぼ同じ内容になっていくのではないかと思います。発達障がいへの支援については、どちらかというとソーシャルスキルのようなイメージの内容にいていたのですが、学習指導、学力向上のためにどのように支援をしたらいいのか、というように視点が変わってきているのではないかと考えています。そのようなことから、小中高の連携などについても、今年度だけではなく2～3年かけて検討していかなければならない課題であろうと思います。あわせて特別支援教育が10年を過ぎましたので、この2月に実態把握の再調査をしたのですが、あの6.3%の数値の再調査をして、秋にこの数値が公表されると云われているのですが、色々なことを考えますと、イギリスのように20%に近いような数値が出るかもしれないというような話もありますので、その対応をどうしていくのかということ、最近では、いじめ問題でその背景で何割かのケースについて発達障がいに関係しているのではないかと考えられますので、大きい捉え方をしながら、専門的に焦点をしばって対応していく必要があるのではないかと考えています。新居浜市全体の教育のシステムや方針のなかで、特別支援教育の分野で対応していくのか、生徒指導の分野で対応していくのかなど大きな視野で検討項目を見直すことがあってもいいと思います。アレルギーの問題などもかなり表面化してしまっていて、同じ給食が食べられないことがいじめにつながることもあり、しんどい思いをしている子どもの姿も見られますので、いろいろな課題が心の問題として総合的に対応していくことが求められていると感じています。新居浜市ではいろいろな障がいをまとめて対応してきた歴史があると思っています。もう一度大きな目で具体的検討項目を見直しできればいいと思っています。県の巡回相談の中で小学校や中学校の資料を見せていただいているのですが、小学校は去年から教科書が変わりまして、中学校は今年から教科書が変わっています。それで、まだ教材研究が十分でないために、新しい単元になりますと発達障がいの子ども達が混乱しているということがありますが、教材研究を進めることで学力をつける授業をしたいとい

	<p>う意識が強くなると、特別支援教育や発達障がいの子どもの支援などは忘れられるのではないかと懸念してしまし、どうやってこの問題に取り組んでいけばいいのか、そのあたりも視野に入れながら、これから進めていくことが大事であると思っています。</p>
アドバイザー	<p>先ほども話をしたのですが、本人にとってよい支援体制について考えていただきたいと思います。乳幼児健診のあとのフォローについて、福祉サービスを利用できることを知らない人が結構多いということを知るので、子どもに障がいがあることで福祉サービスを利用できる権利が発生しているのに、制度を知らないまま障がいがあるということだけに向き合って子育てが進んでしまうということになります。早期発見の段階で重要なことは、子どもを障がい児にすることではなくて、小さい頃から子どもが成長していくためにどんなサービスを利用できるのか、お母さんが頑張る時代はもう終わっているのではないかと思います。特別な個性をもった子どもができたことで、特別な子育ての負担が発生するのは大きな問題だと思いますので、健診の後のフォローをしっかりとさせていただきたいと思います。また児童福祉法の改正で、これまで支援が受けられなかった子どもが支援を受けられるようになっていることもありますので、そのあたりも十分確認しながら具体的項目の見直しなどを進めていただきたいと思います。それから就労についてなのですが、どんなサポートがあれば働けるのか、働く意欲をもっているけれど働けないという現状を抱えている人が、新居浜市にどの位いらっしゃるのか、その点についても今後、明らかにしてほしいと思います。最後になりますが、本人自身が計画や評価に関わっていけるように是を進めていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。アドバイザーの意見を参考しながら、今後検討を進めていきたいと思っています。次に、その他の議題に移りますが、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>8月4日（土）、新居浜市市民文化センター中ホールで第2回特別支援教育研修会（映画上映会）を開催いたします。第1回目の上映を10時から、第2回目の上映を14時から予定しています。教職員を対象にした研修会ですが、保護者、関係機関の皆さま、一般の方の入場もできます。入場無料ですので興味のある方は参加をお願いいたします。それから、7月21日（土）、13時から松山市のひめぎんホールで、発達障がい者広域ネットワーク研修会が開催</p>

委員長	<p>されますので、こちらも多数の皆さまの参加をお願いします。</p> <p>ほかに委員の皆さまから何かあればお伺いしたいと思いますが、どなたかございませんか。ないようですので、これで本日の協議会を終了させていただきます。次回の協議会は10月26日の開催予定でございますのでよろしくお願い致します。</p> <p>皆さまのご協力により、円滑な議事進行ができましたことに重ねてお礼を申し上げます。協議会を終わりにしたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>閉会 午後16時30分</p>
-----	---